

就職に向けて

東京都立青峰学園 就業技術科

学科紹介 その5 (企業就労への流れ)

青峰学園をはじめとする
職業学科は高等部卒業後に
企業就労をする人のための
学校です。

会社で働くようになる
ために必要な学習内容や
ハローワークとの連携が
大変充実しています。

1年次から3年次まで段階を
追って、働くために必要な
知識や技術を磨いていきます。



1年次



青峰学園では学校での授業と会社に行つての実習とに取り組みながら、働くために必要な力を身に付けていきます。

1年次、学校ではすべての職業に関する授業（コース）を体験し、2年生以降に所属したいコースを選びます。

また、何人かの生徒や先生と一緒に青峰生をよく知っている会社に行つて1日就業体験をするインターンシップも2～3回程度実施していきます。

2年次（学校）

2年生になる時には職業に関する教科（コース）も、4つの内の1つに所属が決まっています。そして、学校内の実習室での学びを通して、時間を守ることや報告・連絡・相談などの実践的な取り組みを繰り返します。

なお、働くために必要な力はどのコースにおいても共通の内容を身につけていきますので、自分が所属したコースが、将来の自分の職業ジャンルに直結するわけではありません。



2年次（会社）



2年次は先生と相談しながら、実習する会社を選びます。年間に2～3社です。

会社での実習にも、自宅から一人で行きます。入社して会社の上司の指示のもとに1日の仕事を終え、退社してから電話で学校に報告をしてもらいます。

でも、大丈夫。本当に独りぼっちではありません。会社と学校はいつでも連絡を取りあっていますし、先生方も巡回訪問をしています。生徒一人一人にあわせて、お仕事への取り組み方も調整します。

3年次（学校）



3年生は学校生活の中心・リーダーです。もちろん、職業に関する教科（コース）でも、後輩の面倒をみながら、自分の学習内容の振り返りや、グループとしての生産性を高めるにはどうしたらよいのか考えるなど実践的に学んでいきます。

青峰学園は1学年60名の適正規模校ですので、特に、コースの学習中は生徒と教員、生徒同士の距離感が近いです。見学者からは「アットホームな印象を受ける」と言われています。



3年次（会社）

いよいよ就職するかもしれない会社での実習です。学年を問わず、実習前には生徒や保護者、先生方と相談しながら、実習する会社を選びます。

実習を通して生徒と会社がお互いを知る

このやりとりを繰り返して、将来の就職の可能性を見極め、働き方の相談をしていきます。

早ければ後期に入る頃には就職内定が出るかもしれませんが、しかし、いろいろな事情で遅くなることもあります。そんな時にも先生に相談しながら、一緒に歩いていきましょう。

様々な講座

三年間を通して、折々にいくつかの講座や特設授業を受けられます。社会人になる時に役立つ内容です。



(過去の授業・講座)

合同就労支援センター相談会／携帯マナー
通勤のためのスーツ選び／デートDV／
テーブルマナー／身だしなみ講座／
ファッション・コーディネート／
普通救命講習などなど